



【は】っけん・気付く 【ル】ートを考えつながる 【え】がおを創り出す

久遠



春江中学校教育目標

- 自ら進んでよく学び、協力して働く生徒
- 規律を守り、責任を重んずる生徒
- 心身ともに健康で、思いやりのある生徒

小さな積み重ねが、大きな力に 9月1日 2学期始業式校長講話より一部抜粋

校長 友田 和

1学期の終業式で、私は皆さんに「毎日の積み重ね」について話をしました。

1日10分でも、それを毎日続ければ、夏休み全体ではかなりの時間になる。勉強でも、読書でも、体力づくりでもよいので、何か1つ、毎日少しずつ続けてみてほしい、という内容です。

今日は、その「積み重ね」について、もう少し話をしたいと思います。

皆さんは、日本を代表する元プロ野球選手、イチローさんを知っていますか。名前は聞いたことがある、という人も多いかもしれません。イチローさんは、日本のプロ野球で活躍した後、アメリカのメジャーリーグでも長年活躍した選手です。メジャーリーグでは、1年間に262本のヒットを打つという記録をつくりました。この記録は、今も破られていません。

そんなイチローさんに、こんな言葉があります。「小さいことを重ねることが、とんでもないところに行くただ一つの道」大きな記録を残したイチローさんですが、その土台にあったのは、毎日の練習や準備など、1つ1つは決して特別ではないことを、繰り返し続けてきたことでした。

もちろん、皆さんにプロ野球選手になりなさい、と言っているわけではありません。

皆さんの学校生活にも、同じことが言えるのではないのでしょうか。授業で分からなかった問題を、一問だけやり直してみる。家に帰ったら、10分だけ教科書を開いてみる。本を数ページ読む。部活動で、苦手なことを一つ練習する。朝、自分から挨拶をする。1つ1つを見れば、とても小さなことです。すぐに大きな結果が出るわけでもありません。でも、それを1日、1週間、1か月と続けていけば、やがて大きな力になります。

そして、もう1つ覚えておいてほしいことがあります。何かに取り組めば、いつもうまくいくとは限りません。問題を間違えることもあります。試合で負けることもあります。勇気を出して挑戦しても、思ったような結果にならないこともあります。

でも、失敗したから、それまでの努力が無駄になるわけではありません。

「なぜうまくいかなかったのだろう」「次はどうすればよいだろう」そう考えて、もう一度やってみることも、大切な積み重ねです。

今日から1週間取り組むEnglish Weekで使う英語も同じです。「間違えたら恥ずかしい」と思って何もしなければ、伝わることも、分かることも増えていきません。まず聞いてみる。言ってみる。手を挙げてみる。そんな小さな挑戦から始まります。

2学期は、1年の中でも長い学期です。勉強はもちろん、学校行事、部活動、委員会や係の活動など、皆さんが成長できる機会がたくさんあります。「失敗したら恥ずかしいからやめておこう」

「自分には無理だからやらない」そう決めてしまう前に、ぜひ一度、挑戦してみてください。大きなことをする必要はありません。昨日の自分より、今日の自分がほんの少し前に進む。今日できる小さなことを、1つ積み重ねる。1人ひとりが小さな挑戦と努力を積み重ね、大きく成長できる2学期になることを期待しています。